

## 伊達市の年表

(平成23年7月時点)

年月	記事
	本市の所属は、明治維新前は幕府直轄で函館奉行が所管し、明治元年4月には函館裁判所の管轄に移り、エゾ改めて北海道と称された明治2年、国、郡に分けられ胆振国に属した。
明治2年8月	伊達邦成、有珠郡の支配を命ぜられ、10月田村顕允が先発し、支配地の受渡しをうけ、ついで邦成は陸路青森を經由し支配地に着き、実地視察を行った。
明治3年4月	第1回の移住者250名が着き、4月17日に開墾の初鋤をおろす。
明治4年	郡区編成(有珠、長流、紋龍、稀府、黄金薬の5村)
明治4年8月	邦成の支配を離れ開拓使に属し、移民取締時代に変わり12年まで続く。
明治5年5月	開拓使有珠出張所を紋龍に設置
明治5年10月	有珠郷学校(のちの伊達小学校)開校
明治7年5月	西洋農具を採用、開墾を促進
明治7年12月	室蘭出張所有珠派出所設置
明治8年	農社創設(西洋農具の使用練習とその実習を長流村で)
明治8年	郵便局設置
明治8年	官立病院設置
明治8年11月	室蘭出張所有珠分署と改称
明治9年	永年社設置(農協の前身ともみるべきもの、移住者全員が社員)
明治10年1月	室蘭分署に移管
明治12年7月	郡区改正により室蘭郡役所所管、同時に紋龍に戸長役場設置
明治12年末	人口2,504名、開墾反別1,214町歩
明治13年	大雄寺建立
明治13年12月	内務省紋龍製糖所設立
明治14年11月	紋龍学校稀府分校(のちの稀府小学校)開校
明治14年12月	紋龍学校長流分校(のちの長和小学校)開校
明治15年1月	紋龍学校関内分校(のちの関内小学校)開校
明治15年2月	紋龍村を大字東紋龍、西紋龍に分村
明治15年4月	開拓使廃止、3県設置(紋龍は札幌県に属す)
明治16年	函館、紋龍間の航路開設
明治16年	製藍会社設置
明治17年	官選戸長制となり6か村を一括統治
明治17年	紋龍警察署設置

年月	記事
明治17年7月	有珠小学校開校
明治19年1月	3県廃止、北海道庁所轄
明治20年	紋龍登記所設置
明治20年	消防組組織される。
明治20年4月	紋龍製糖会社設立(官立製糖所民営移管)
明治22年4月	開拓20年記念祭挙行
明治27年	村内の道路改修し、初めて全通
明治28年12月	東紋龍分教場(のちの東小学校)開校
明治29年9月	紋龍学校黄金薬分教場(のちの黄金小学校)開校
明治30年5月	郡役所廃止、室蘭支庁の所管
明治32年	噴火湾汽船株式会社設立
明治33年7月	1級町村制施行により東紋龍、西紋龍、稀府、黄金薬、長流、有珠の6か村を併せて伊達村と改称
明治33年8月	長流村、西紋龍村の一部分割、壮警村を分村
明治36年5月	有珠村の一部を分割、壮警村と合併
明治36年5月	関内尋常小学校志門気分教場(のちの関内小学校志門気分校)開校
大正2年1月	市街地に電話開通
大正4年4月	関内尋常小学校喜門別分教場(のちの関内小学校喜門別分校)開校
大正6年12月	市街地に最初の電灯設置
大正8年9月	開村50年記念祭挙行
大正11年7月	伊達女子職業学校認可設立
大正14年8月	町制施行(伊達町と改称)
昭和元年11月	警察庁舎移転建築
昭和3年9月	国鉄長輪線全線開通
昭和15年8月	伊達赤十字病院設立
昭和16年4月	町立伊達中学校開校
昭和16年9月	胆振縦貫鉄道開通
昭和22年5月	伊達第一中学校(のちの伊達中学校)開校
昭和22年5月	伊達第一中学校長流分校(のちの長和中学校)開校
昭和22年5月	伊達第一中学校有珠分校(のちの有珠中学校)開校
昭和22年5月	伊達第一中学校稀府分校(のちの達南中学校)開校
昭和22年5月	伊達第一中学校関内分校(のちの関内中学校)開校
昭和23年4月	北海道伊達高等学校開校

年月	記事
昭和23年7月	私立伊達幼稚園開設
昭和24年10月	開基80年記念祝賀会挙行
昭和24年12月	伊達町史発刊
昭和25年11月	役場新庁舎落成
昭和26年5月	有珠小学校養護学級(のちの優健分校)設置
昭和27年11月	伊達町教育委員会設置
昭和30年8月	国鉄バス、関内線、稀府線が開通
昭和32年4月	伊達西小学校開校
昭和33年1月	北海道砂鉄鋼業伊達工場操業
昭和33年3月	伊達町開拓記念館開設
昭和34年4月	字名変更(字長流を字長和、字上長流を字上長和)
昭和34年10月	国鉄駅名改称(長流駅を長和駅、上長流を上長和)
昭和34年10月	台糖(株)道南製糖所操業
昭和34年10月	開基90年祝賀会挙行
昭和35年10月	国民健康保険事業開始
昭和35年12月	上水道事業経営認可
昭和36年6月	消防庁舎完成
昭和36年7月	町立自動車教習所開設
昭和36年10月	集中豪雨により農業、土木施設に6億5,000万円の被害
昭和38年1月	上水道給水開始
昭和38年4月	町立有珠生活館開設
昭和38年9月	国鉄北舟岡信号場完成
昭和38年11月	胆振西部五町村衛生処理組合設立認可
昭和39年3月	自動式電話に切替え
昭和39年4月	新産業都市に指定
昭和39年5月	伊達町開拓記念館新館完成
昭和39年6月	ごみの定期収集実施
昭和39年7月	伊達町体育館開設
昭和39年9月	有珠郷土館完成
昭和39年10月	伊達町公民館開設
昭和40年6月	地籍調査開始
昭和40年7月	伊達町農業学園開設

年月	記事
昭和40年7月	町立養護老人ホーム潮香園開設
昭和40年10月	町立黄金生活館開設
昭和40年10月	電話即時通話
昭和40年11月	北星母と子の家完成
昭和41年3月	し尿処理場完成(胆振西部五町村衛生処理組合)
昭和41年8月	集中豪雨により死傷者7名、3億円の被害
昭和41年10月	胆振青年の家組合設立許可
昭和42年2月	胆振七町村結核予防組合設立許可
昭和42年3月	胆振青年の家完成
昭和42年4月	くらしに生かす放送利用運動推進町に指定
昭和42年4月	町立稀府生活館開設
昭和42年9月	伊達町農村結婚相談所開設
昭和42年10月	都市計画用途地域指定
昭和42年10月	長和母と子の家完成
昭和42年11月	初の伊達町功労者を表彰
昭和43年3月	黄金小学校改築
昭和43年4月	伊達・壮警学校給食組合設立許可
昭和43年6月	道立太陽の園開設
昭和43年8月	道営有珠地区開拓パイロット事業開始
昭和43年10月	伊達町百年の樹選定
昭和43年10月	伊達町民の歌決定
昭和43年12月	関内地区公民館完成
昭和44年1月	伊達・壮警学校給食組合給食開始
昭和44年6月	開祖顕彰像、百年記念碑の除幕式挙行
昭和44年7月	志村化工(株)工場操業
昭和44年8月	伊達町社会福祉センター開設
昭和44年8月	伊達町100年祝典挙行
昭和44年9月	仙台神楽保存会発足
昭和45年1月	東紋龍地区公民館完成
昭和45年1月	低気圧「台湾坊主」で被害総額7億円
昭和45年6月	北海道電力(株)伊達火力発電所立地決定
昭和45年6月	生活環境保全対策協議会発足

年月	記事
昭和45年8月	伊達漁港起工
昭和45年9月	西胆振農業センター設置
昭和45年10月	伊達町旭町児童館完成
昭和45年12月	市街化区域、市街化調整区域決定
昭和46年1月	第1回まちづくり運動推進協議会開催
昭和46年12月	西在地区公民館完成
昭和46年12月	旧三戸部家住宅重要文化財(国)に指定
昭和47年2月	低気圧で1億600万円の被害
昭和47年4月	市制施行、全字名変更
昭和47年4月	伊達町史発刊
昭和47年4月	伊達警察署新庁舎落成
昭和47年5月	教育委員会「教育の窓」発行
昭和47年5月	西胆振広域市町村振興計画策定
昭和47年6月	館山公園(都市公園)整備開始
昭和47年7月	北海道電力(株)と公害防止協定締結
昭和47年8月	胆振青年の家組合解散、市へ移管
昭和47年8月	体力づくり都市宣言
昭和47年9月	台風20号で7億2,000万円の被害
昭和47年10月	胆振青年の家屋体完成
昭和47年11月	伊達小学校改築校舎完成
昭和47年11月	稀府小学校焼失
昭和47年11月	黄金母と子の家完成
昭和47年12月	伊達市土地開発公社設立
昭和48年1月	錦町福祉ホーム完成
昭和48年3月	伊達市総合計画(基本構想)策定
昭和48年4月	関内小学校喜門別分校廃止、有珠小学校に優健分校、東紋龍小学校にひまわり分校、伊達中学校にひまわり分校を設置
昭和48年5月	稀府小学校、有珠小学校改築工事起工
昭和48年6月	市立通勤センター旭寮開設
昭和48年8月	第1回伊達武者まつり
昭和48年8月	地区名改称(東在を東、西在を中央区)
昭和48年10月	乳幼児医療費無料化
昭和48年11月	地籍調査事業竣工

年月	記事
昭和48年11月	北星福祉ホーム完成
昭和48年12月	旭町福祉ホーム完成
昭和48年12月	稀府小学校新校舎完成
昭和49年3月	有珠小学校新校舎完成
昭和49年3月	室蘭保健所伊達地方環境監視室完成
昭和49年4月	西胆振成人病予防組合設立(胆振七市町村結核予防組合解散)
昭和49年5月	善光寺跡史跡(国)に指定
昭和49年8月	長和福祉ホーム完成
昭和49年9月	伊達市開拓記念館資料館完成
昭和49年10月	体力づくり運動で内閣総理大臣表彰を受賞(伊達市)
昭和49年11月	梅本町福祉ホーム完成
昭和49年12月	新庁舎建設工事起工
昭和49年12月	舟岡福祉ホーム完成
昭和49年12月	山下町親和福祉ホーム完成
昭和49年12月	元町福祉ホーム完成
昭和49年12月	市営スケートリンク開設
昭和49年12月	伊達市立身体障害者福祉館完成
昭和50年2月	公共下水道事業認可
昭和50年3月	准看護婦学校校舎完成
昭和50年3月	関内小学校志門気分校廃止
昭和50年4月	ごみ手数料無料化実施
昭和50年4月	伊達市青少年指導センター設置
昭和50年4月	市立あやめ保育所開設
昭和50年4月	農業学園に代わって農業青年大学校を開設
昭和50年6月	広報「だて」200号発行
昭和50年8月	台風5・6号により12億3,400万円の被害
昭和50年10月	第12回国勢調査実施、人口33,335人
昭和50年11月	新庁舎建築工事本体部分完成(12月から使用開始)
昭和50年12月	悪臭防止地域に指定
昭和50年12月	機構改革(4部制)
昭和50年12月	稀府福祉ホーム完成
昭和50年12月	有珠地区公民館完成

年月	記事
昭和50年12月	北黄金浄水場一部給水開始
昭和51年2月	志村化工(株)と公害防止協定締結
昭和51年4月	新庁舎完成
昭和51年4月	胆振西部医師会准看護婦学校開校
昭和51年5月	館山公園完成
昭和51年5月	旧庁舎解体
昭和51年6月	町の区域の変更(北稀府町の一部を萩原町へ編入)
昭和51年7月	ダイヤル交換市開始
昭和51年8月	市営館山野球場完成
昭和51年8月	市役所庁舎落成式
昭和51年9月	舟岡地区土地区画整理事業決定(51年～60年)
昭和51年9月	伊達消費者協会設立
昭和51年11月	すみれ児童公園完成
昭和52年4月	都市計画税新設
昭和52年5月	第1回市民花まつり
昭和52年8月	有珠山噴火(7日午前9時12分)災害救助法適用
昭和52年9月	第1回消費生活展開催
昭和52年11月	中央福祉ホーム完成
昭和53年2月	特定地域激じん災害に指定(有珠山噴火)
昭和53年4月	市立ひまわり保育所開設
昭和53年4月	市の木「エゾヤマザクラ」市の花「ツツジ」制定
昭和53年4月	温排水有効利用養殖施設完成
昭和53年6月	消防本部課制施行
昭和53年8月	埋蔵文化財包蔵地調査実施
昭和53年9月	関内福祉ホーム完成
昭和53年12月	消防署有珠支署設置
昭和54年4月	光陵中学校開校
昭和54年6月	避難施設緊急整備地域に指定(有珠山噴火)
昭和54年7月	善光寺自然公園(フィールドアスレチック)開設
昭和54年8月	開基110年記念祝典挙行
昭和54年10月	夜間急病センター開設
昭和55年1月	農村婦人の家開設

年月	記事
昭和55年3月	伊達漁港完成
昭和55年4月	市立図書館開設
昭和55年4月	特別養護老人ホーム喜楽園開設(社会福祉法人北海道伊達博光会)
昭和55年10月	第13回国勢調査実施人口34,705人
昭和55年12月	消防署黄金支署設置
昭和55年12月	市立ふたば保育所改築
昭和56年1月	伊達市まちづくり運動推進委員会結成
昭和56年4月	市立さくら幼稚園開設
昭和56年4月	伊達市・亶理町ふるさと姉妹都市締結調印式挙行
昭和56年4月	北海道伊達高等養護学校開校
昭和56年4月	有珠火山防災会議協議会設置(伊達市、虻田町、壮瞥町)
昭和56年5月	市立市民プール開設
昭和56年7月	綱代町ショッピングモール完成
昭和56年8月	台風第15号により32億1,768万円の被害災害救助法適用(長流川溢水床上351世帯)
昭和56年9月	新伊達市総合計画及び国土利用伊達市計画策定
昭和56年9月	市道路線の再編成(道路台帳整備事業完了)
昭和57年3月	館山下福祉ホーム完成
昭和57年4月	伊達市・亶理町ふるさと姉妹都市締結1周年記念植樹
昭和57年4月	市立つつじ保育所開設
昭和57年7月	B&G財団伊達海洋センター開設
昭和57年7月	伊達市・新地町ふるさと姉妹都市締結調印式(新地町)挙行
昭和57年8月	伊達市・新地町ふるさと姉妹都市締結披露式挙行
昭和57年8月	市制施行10周年記念式挙行
昭和57年9月	伊達中学校移転改築
昭和58年4月	北海道伊達緑丘高等学校開校
昭和58年6月	有珠山南外輪山散策路完成(警戒区域への立入規制一部緩和)
昭和58年6月	伊達市地域産業育成協議会発足
昭和58年7月	すぐやる課新設
昭和58年8月	北黄金船揚場完成
昭和58年9月	水車・アヤマ川自然公園開園
昭和58年11月	83だて物産フェア一開催(第1回)
昭和58年11月	伊達、虻田沿岸観光開発協議会発足



年月	記事
昭和59年3月	道立有珠優健学園新体育館完成
昭和59年5月	伊達市統計協議会発足
昭和59年6月	もんべつ岳太陽の園登山コース第1回山開き
昭和59年10月	弄月館開館
昭和59年10月	伊達さけますふ化場完成
昭和59年11月	国鉄伊達紋別駅前広場完成
昭和59年11月	第1回ふるさと伊達芸能まつり
昭和59年12月	竹原福祉ホーム完成
昭和60年2月	第1回有珠湾白鳥まつり
昭和60年4月	機構改革(1室4部制)
昭和60年4月	私立京王幼稚園開設
昭和60年4月	伊達市行政改革推進本部設置
昭和60年5月	伊達市観光物産館開設
昭和60年5月	伊達地域開発推進本部設置
昭和60年6月	伊達卸協同組合創立
昭和60年7月	伊達城下町フェア開催
昭和60年8月	B&G財団伊達海洋センター市に譲渡
昭和60年10月	公共下水道供用開始
昭和60年10月	達南中学校新校舎完成
昭和60年10月	第14回国勢調査実施、人口34,825人
昭和60年12月	伊達市行政改革大綱策定
昭和60年12月	有珠地区農業改良普及所新庁舎完成
昭和61年3月	第1回公民館まつり
昭和61年4月	機構改革(1室5部制)
昭和61年4月	情報芸術学院開校
昭和61年6月	伊達赤十字病院新本館完成
昭和61年8月	有珠中学校新校舎完成
昭和61年8月	歴史の杜基本構想策定委員会発足
昭和61年10月	国鉄胆振線廃止
昭和62年8月	都市開発課新設
昭和62年	伊達青年会議所理事会において「北の湘南」を名付ける
昭和63年1月	黄金郵便局移転改築

年月	記事
昭和63年4月	伊達市・山元町ふるさと姉妹都市締結調印式挙行
昭和63年5月	伊達市・山元町ふるさと姉妹都市締結披露式挙行
昭和63年5月	伊達市・柴田町歴史友好都市締結調印式挙行
昭和63年6月	21だて市民会議発足
昭和63年7月	黄金福祉ホーム完成
昭和63年7月	長和中学校新校舎完成
昭和63年9月	善光寺新庫裡完成
昭和63年11月	商業近代化対策班設置
平成元年1月	第1回伊達市民スポーツ賞表彰
平成元年3月	伊達歴史の杜基本計画発表
平成元年4月	清掃センター操業開始
平成元年6月	南大通り開通式
平成元年6月	厚生省「ふるさと21健康長寿のまちづくり」の指定を受ける
平成元年7月	ごみ処理手数料有料化開始
平成元年8月	サンワールド新社屋完成操業スタート
平成元年8月	開基120年記念式典挙行
平成元年10月	有珠白鳥公園完成
平成元年12月	有珠駅、長和駅改築
平成2年2月	上館山地区畑地帯総合土地改良事業竣工
平成2年6月	伊達市観光物産館移転改築
平成2年10月	第1回伊達漁協秋サケ祭り
平成2年10月	たちかぜ児童公園完成
平成2年10月	第15回国勢調査実施、人口34,507人
平成3年1月	在宅老人デイ・サービス事業開始
平成3年3月	第四次伊達市総合計画及び国土利用伊達市計画策定
平成3年4月	保健センター開設
平成3年4月	武道館開設
平成3年8月	伊達武者まつりに伊達騎馬総陣立が初登場
平成3年11月	伊達藩「ふるさと姉妹都市・歴史友好都市」連絡協議会発足
平成3年11月	第1回伊達開拓「ふるさと従兄弟(い〜とこ)」サミット開催
平成3年12月	広報だて400号発行
平成4年2月	関内中学校新校舎完成

年月	記事
平成4年8月	市制施行20周年記念式典挙行
平成4年9月	学校週5日制スタート
平成4年9月	道道上長和萩原線伊達トンネル貫通
平成4年10月	北海道縦貫自動車道伊達・室蘭間開通
平成5年2月	市道胆振長輪線(サイクリングロード)供用開始
平成5年3月	有珠終末処理場供用開始
平成5年4月	道道伊達・洞爺線の国道昇格(国道453号線誕生)
平成5年5月	声の広報事業スタート
平成5年7月	だて歴史の杜カルチャーセンター着工
平成5年9月	道内初のナイター議会
平成6年3月	北海道縦貫自動車道伊達・虻田洞爺湖間開通
平成6年7月	伊達街道一工区及び市役所通り商店街近代化事業完成
平成6年8月	伊達市議会だより創刊
平成6年10月	市内中学生米国モンタナ州ミズーラ市訪問
平成6年12月	だて歴史の杜カルチャーセンター落成
平成7年4月	プライム・ヘルシータウン湘南オープン
平成7年6月	第47回北海道消防大会が開催される。
平成7年8月	第41回全国高校演劇大会で北海道伊達緑丘高等学校が優秀賞を獲得
平成7年10月	第16回国勢調査実施、人口34,429人
平成7年10月	昭和新山生成50周年記念95国際火山ワークショップが開催される。
平成8年3月	道道上長和萩原線伊達トンネル完成
平成8年8月	まれふふれあい公園完成
平成8年10月	住民情報システム稼働
平成9年4月	東地区コミュニティセンター開設
平成9年4月	有珠ビーチハウス開設
平成9年4月	再生資源物回収開始
平成9年8月	第7回伊達開拓「ふるさと従兄弟(いーとこ)まちづくり」サミット開催
平成10年3月	伊達街道二工区(通称：フロンティア街道)完成
平成10年4月	だて、水と歴史の散歩道完成
平成10年8月	伊達西小学校新校舎完成
平成10年11月	市道胆振長輪線(サイクリングロード、愛称：伊達風のメモリー)完成
平成11年4月	黎明観開設

年月	記事
平成11年4月	有珠地区コミュニティセンター開設
平成11年4月	有珠中学校優健分校設置
平成12年3月	有珠山噴火(31日午後1時10分)災害救助法適用
平成12年4月	介護保険事業開始
平成12年4月	広報だて500号発行
平成12年7月	だてみらい会議21発足
平成12年8月	だて歴史の杜が「道の駅」に指定される。
平成12年9月	ケアハウス伊達プライム館オープン
平成12年10月	第17回国勢調査実施、人口35,036人
平成13年6月	北黄金貝塚公園開園
平成13年7月	だて噴火湾縄文フェスタ開催
平成13年10月	子育て支援センター「えがお」開設
平成14年3月	第五次伊達市総合計画策定
平成14年8月	市制施行30周年記念式典挙行
平成14年12月	西胆振地域廃棄物広域処理施設(愛称:メルトタワー21)稼働
平成15年4月	水道庁舎移転(網代町)
平成15年7月	(伊達市・壮瞥町・大滝村任意合併協議会設置)
平成15年9月	消防本部・消防署松ヶ枝町移転(消防センター)
平成15年10月	伊達市・壮瞥町・大滝村法定合併協議会設立
平成15年10月	第57回日本人類学会伊達市開催
平成15年11月	伊達市消防・防災センター竣工(平成13年12月着工)
平成15年12月	室蘭・伊達広域ネットワーク(地域イントラ)構築
平成16年3月	関内中学校閉校、光陵中学校へ統合
平成16年4月	伊達市堆肥センター本格稼働
平成16年4月	黄金地区コミュニティセンター開設(初の指定管理者制度導入)
平成16年12月	伊達市・大滝村合併協議会設置(平成17年2月協定調印)
平成17年3月	伊達版安心ハウス認定制度策定
平成17年4月	宮尾登美子文学記念館開設
平成17年4月	伊達市噴火湾文化研究所開設
平成17年5月	伊達市地域福祉計画策定(平成21年度まで)
平成17年10月	第18回国勢調査実施(人口:36,066人)
平成18年1月	戸籍事務のコンピュータ化開始

年月	記事
平成18年2月	伊達市が、西胆振消防組合に加入(本部は、松ヶ枝町)
平成18年3月	大滝村を編入合併し、新「伊達市」誕生(人口：37,619人)
平成18年3月	新市建設計画策定”自然の恵みと文化がいきづく「健康創造都市」”を目指す
平成18年3月	大滝総合支所、地域振興部設置(旧大滝村役場)
平成18年3月	有珠小学校優健分校及び有珠中学校優健分校閉校
平成18年3月	避難道路(道道南黄金長和線)開通
平成18年4月	星の丘小学校及び星の丘中学校開校
平成18年4月	心の伊達市民の募集開始
平成18年4月	伊達すこやか親子21計画策定(平成23年度まで)
平成18年4月	住んでみたいまちづくり課設置
平成18年8月	大相撲伊達場所開催(26年ぶり)
平成18年9月	大阪府枚方市と市民交流宣言(経済交流の開始)
平成19年2月	伊達市国民保護計画策定
平成19年2月	伊達市地域新エネルギービジョン策定
平成19年3月	伊達市障がい福祉計画策定(平成23年度まで)
平成19年3月	伊達市障がい者計画(平成23年度まで)
平成19年3月	市役所第2庁舎開設
平成19年4月	伊達市市民参加条例制定
平成19年4月	長和地区コミュニティセンター開設
平成20年4月	優良田園住宅「田園せきない」の造成地が完成
平成20年7月	北海道洞爺湖サミット開催
平成20年7月	カナダのステイブン・ハーパー首相が「子ども環境サミット」出席のため来伊
平成20年9月	市立養護老人ホーム潮香園移転改築
平成20年12月	カルチャーセンター講堂入口に、来伊したステイブン・ハーパー首相の名を冠した「ハーパーホール」記念プレートを設置
平成22年3月	長和中学校及び有珠中学校閉校、光陵中学校に統合
平成22年4月	中国福建省漳州市と友好都市締結調印式
平成23年7月	伊達メガソーラー発電所竣工
平成23年7月	亘理町から招致のイチゴ農家にイチゴ試験栽培委託開始